

ルンド大学留学体験記

理学部理学科地学コース4年 四宮 七瀬

■留学国名

スウェーデン

■留学期間

約十ヶ月

■実施年月

2022/08/15 ~ 2023/06/28

■留学をしようと思った理由

現在、私は古生物学という昔の生き物についての勉強をしています。この学問は化石などを用いて研究を行い、生物の進化や生態などを明らかにするものです。そのため、古生物について深く理解するには日本国内で見つかった化石だけでなく、他の国で見つかった化石にも目を向けなくてはなりません。

昔から漠然と海外に行きたい！という気持ちがあったのに加え、古生物についてもっと深く知りたい！という気持ちが、大学に入ってから明確になったため留学を決断しました。…とカッコよく言えば上記のような理由になりますが、実は「憧れの研究者達はどうだいたい留学しているし、真似したら自分も成長できそう！」と思ったのがきっかけです。もちろん、ヨーロッパは古くから古生物についての研究が盛んに行われていたので、研究史を追体験してみたかった、というのも理由の一つです。

■その大学を選んだ理由

金銭的な面から私費留学は視野に入れず、交換留学を最初から希望していました。理想は学部2年生か3年生のときに留学だったのですがコロナ禍で出来ず。3年生の秋頃に交換留学が再開すると聞いて、その協定校のリストから選びました。入学時はUCバークレーに行きたいな～と思っていたのですが、好きな研究者が移動してしまったことを知り、除外しました。

そのリストの中でルンド大学に決めた大きな理由は・愛媛大学の地学科の先生と交流のある大学だったこと・興味のある分野の研究者がいたこと・英語がかなり通じそうだったこと・日本人が少なそうだったこと の4点になります。最後の日本人の数については予想に反してとても多かったです。(40人ほどいました。)

■留学先で学んだこと

4年生になってからの留学でしたが、私は卒論を愛媛大学で書くことにしていたので、ルンド大学では授業に集中して過ごしていました。受講した授業は・初級スウェーデン語・北欧デザイン・スウェーデン文学・地質学(第四紀・古生物学)などです。

どの授業も先生が熱心で質問しやすく、勉強するには素晴らしい環境でした。学生の質も日本とは桁違いに高いです。ただ、受講する授業にもよりますが、セミナーやプレゼン、グループワークが愛媛大学の2,3倍はあります。テスト期間などはそれらの準備にかなり追われ、忙しくなるのは間違いないと思います。

また授業は基本的に英語で行われるので、英語力も向上しました。(最初の頃はスピード感についていけず、とても苦労しましたが。)

■留学先で楽しかったこと、辛かったこと

基本的にすべてが目新しく、何もかもが楽しかったです。その時辛いな~と思ったことも喉元過ぎれば熱さを忘れ、今では良い思い出です。

特に楽しかったことは地質学の授業でフィールドワークに行けたことです。スウェーデンの泥炭湿地でのサンプリングや、デンマークの採石場での化石発掘は死ぬまで忘れられない思い出です。日本ではみたことのない地質で化石がたくさん見つかり、わたし

は魚の化石を見つけることが出来ました。また、これらの調査は泊りがけだったので、スウェーデン人や他の留学生と仲良くなれたのも嬉しかったです。

■辛かったこと

スウェーデンについてすぐの頃、想像以上に英語を話すことが出来ず、授業に上手くついていけなかったことです。周りの日本人留学生の多くが国際系学部出身で、すでに英語に長けている子が多かったのも辛さに拍車を掛けました。授業中に上手く自分の意見を発言できず、どうしても比較してしまい落ち込むことが時折ありました。

が、今考えてみればこれも些末な問題です。コツコツやればそのうちなんとなく、日常会話レベルでは話せるようになると思います。

■まとめ

4年生での留学なのもあり、「卒業が一年ずれるけど、本当に行って大丈夫かな…？」と思い悩むこともありましたが、結果的に最高の経験になりました。円安やらロシア情勢やらコロナやら、不安定な状況の中での留学でしたが、特にこれといった大きな問題もなく生活を楽しむ事ができました。

ルンド大学での勉強を通してスウェーデン人だけでなく、他の国からの留学生や日本人留学生とも交流することができ、素敵な友好関係を築く事ができました。これも大き

な財産の一つです。

最後に、私は愛媛大学より長期留学奨学金を頂いたことで、大変充実した留学生活を送ることが出来ました。心より感謝申し上げます。

以上、ルンド大学での交換留学体験記とさせていただきます。



図 1

デンマークで見つけた魚の化石



図 2

スウェーデンの泥炭湿地での調査